

土砂災害想定避難訓練を行いました

11月4日（木）に、加古川市防災対策課と連携して、土砂災害想定避難訓練を行いました。本校の校区は、土砂災害警戒区域に指定されているところがあります。

平荘小学校も土砂災害警戒区域の範囲に入っています。

この度は、連日の大雨により、裏山の土砂崩れの危険性が高まったため、警戒レベル3が発令されたと想定し、避難訓練を行いました。

土砂災害による避難は、①立ち退き避難（土砂災害警戒区域外へ避難）と②垂直避難（建物の上階に避難）があります。この度は、立ち退き避難の訓練を行いました。

まず、子どもたちは、避難指示の校内放送を聞き、担任・担当の引率のもと落ち着いて運動場へ避難をしました。その際には、『お・は・し・も・ち』を意識して避難をしました。



お	さない
は	しらない
し	ゃべらない
も	どらない
ち	かづかない

1学期は、火災による避難訓練でした。1学期に比べ、2学期の避難の仕方はぐーんとよくなりました。子どもたち一人一人が、避難訓練の目標をしっかりとち、真剣に取り組めていました。

一旦運動場に避難しますが、ここから立ち退き避難（平荘会館へ避難）を開始します。5年生を先頭に、低学年・中学年を間に挟んで、最後に6年生が避難する形をとりました。



交通安全に気をつけて立ち退き避難開始

平荘小学校から平荘会館へ、立ち退き避難を開始しました。安全に気をつけて、交差点を通過し歩道を通行しました。もちろん、平荘会館への移動も避難訓練です。油断はできません。



平荘会館に到着しました



教育活動中に、土砂災害による立ち退き避難をした場合は、最後は、引き渡しになります。

この日の子どもたちは、『避難はいつから始まり、いつまでが避難なのか』を考えながら訓練を行いました。帰校の際も静かに安全に行動ができました。

皆さん、私は、消防士です。現在、加古川市防災対策課で勤務しています。今日の避難訓練では、みなさんは、静かに一列で安全に行動ができていました。とてもよかったです。1年生が列の真ん中に来て、上級生が前後で守りながら歩く姿はとても心強く感じました。安心して見ることができました。この何気ないことが非常時には大切なことなのです。後ろを振り返ったり、話をしたりして避難することがどれほど危ないことであるかをよく理解している証拠です。

みなさんに、一つだけ覚えておいてほしいことがあります。本当に、身に危険が迫った時、人は足がすくんで動けなくなることがあります。また、焦ってとんでもない行動を起こすことがあります。パニックと言うのですが、これは、火災の時や地震の時でも同じなんです。ですから、何度も訓練を反復し続けていくことで、人は冷静な行動がとれますので、これからもこのような訓練を継続して行ってくださいね。